

# 平成 27 年度 発達障害医学セミナー

「発達障害とトラウマ」



【日時】2016年2月6日（土）～7日（日）

【場所】名古屋市立大学 桜山（川澄）キャンパス 医学研究科・医学部研究棟 11階講義室（大）

【参加者】193名

【コーディネーター】杉山 登志郎（浜松医科大学児童青年期精神医学講座）

【主催】公益社団法人 日本発達障害連盟

## ■ プログラム

---

(敬称略)

2月6日(土) 9:30-17:10

発達障害とトラウマ その複雑な関係

杉山登志郎(浜松医科大学児童青年期精神医学講座)

強度行動障害の治療

井上雅彦(鳥取大学医学部大学院医学系研究科)

発達障害と子ども虐待の入院治療

山村淳一(独立行政法人国立病院機構天竜病院児童精神科)

発達障害とトラウマの遺伝学

江川純(新潟大学大学院医歯学総合研究科)

発達障害と非行と子ども虐待

望月直人(大阪大学キャンパスライフ支援センター)

発達障害の子どもへのトラウマ治療

吉川久史(浜松医科大学児童青年期精神医学講座)

2月7日(日) 9:00-14:20

発達障害と感情障害

吉川徹(愛知県心身障害者コロニー中央病院 児童精神科)

乳児院では今

山崎知克(浜松市子どものこころの診療所)

発達障害と子ども虐待の親子併行治療

藤江昌智(独立行政法人国立病院機構天竜病院児童精神科)

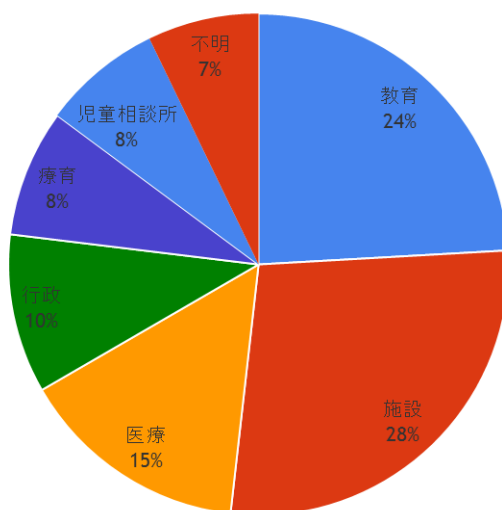
ASDとトラウマ ASD 少年への EMDR

大羽美華(浜松市児童相談所)

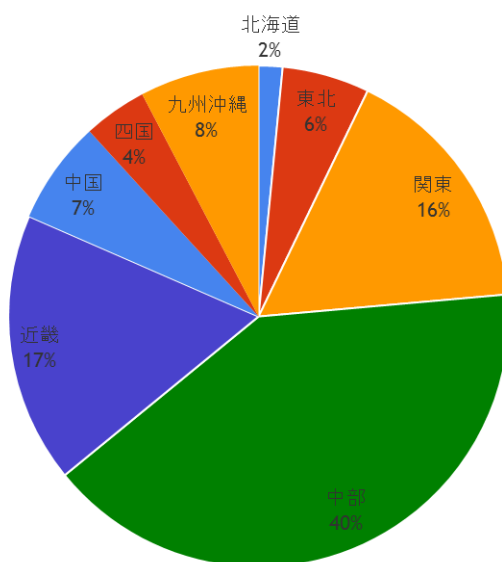
## ■ 参加申込状況

---

### ■ 所属

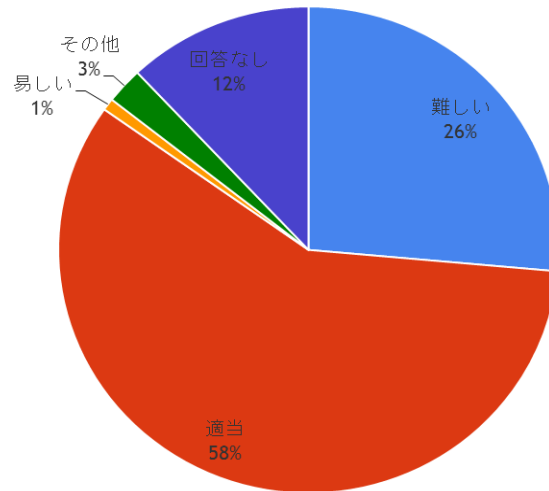


### ■ 在住都道府県

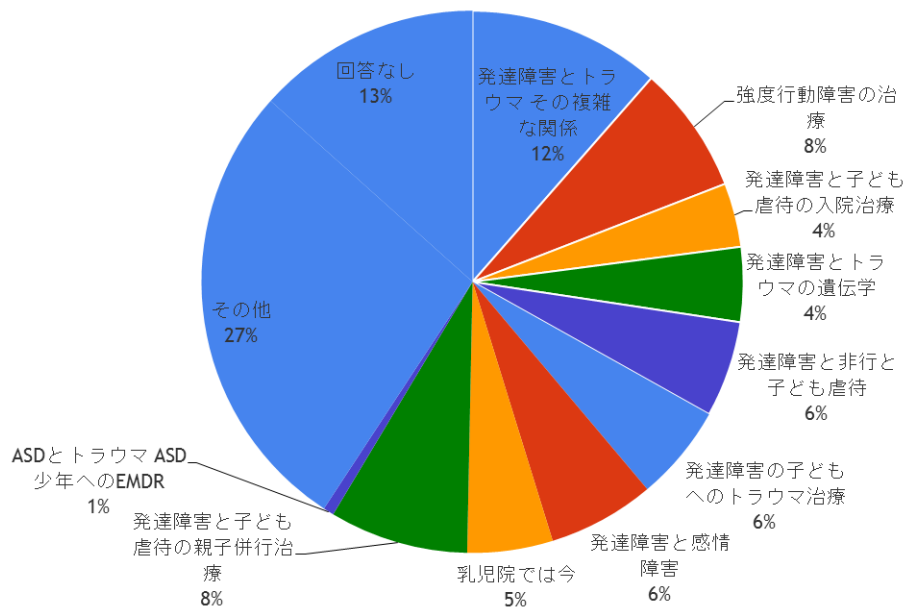


## ■ 参加者アンケート（回答 125 名）

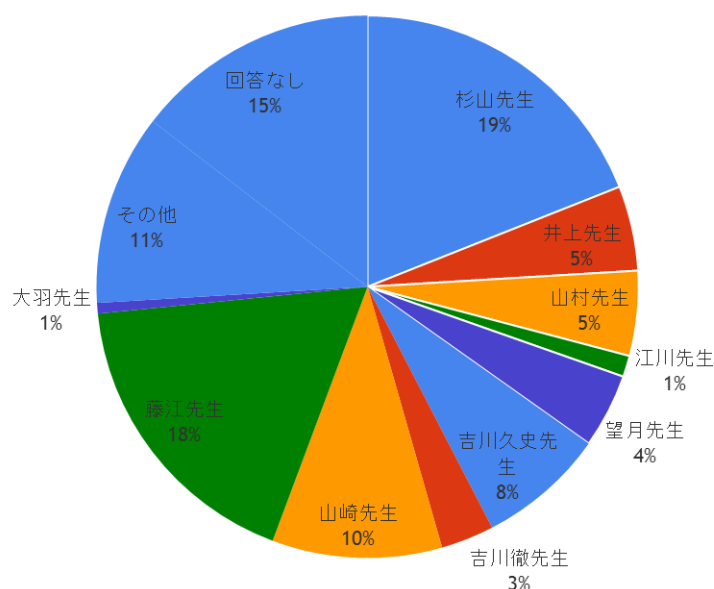
### ■ 内容について（難易度）



### ■ 最も関心が高かったテーマ（複数回答）



## ■ 最も印象に残った講師（複数回答）



## ■ 参加者の皆様からの声

「密度が濃い。総論と各論が具体的でわかりやすくよかった。1つ1つの講義をもう少しゆっくり聞きたかったが、関連するテーマをバラエティ豊かにやっていただけたのでありがたかった。」

「被虐待によって発達障害様の状況になるということをもっと認識しなければいけないと思いました。」

「トラウマの治療は実際に効果があることに希望を感じました。実施できる機関の乏しさに考えさせられました。」

「ASD 児の愛着形成の遅れとその要因について、動画を含めた説明でわかりやすく学ぶことができました。」

「親子併行治療の必要性を痛感した。事例を通して治療の方法がよく伝わってきてわかりやすかった。P 循環療法は教育の現場でも活用できると思いました。」

「非常に専門的で難しい内容もあったが、発達障害について違った角度から考えることができ、勉強になった。」

## ■ 最後に

当日は満席となり、ご参加いただきました皆様にご不便をおかけしましたこと、またお断りさせていただいた皆様には改めてお詫び申し上げます。ご参加、ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

どの講義も、いろいろな立場から支援に関わっている講師による専門性の高い最新の研究、事例、臨床の知見を含み、発達障害と虐待・トラウマの関係を様々な側面から理解できたセミナーとなりました。

なお、本セミナーの講演の内容は、診断と治療社より発行される「発達障害医学の進歩 28」に収録されます。